

## 61 アオアシシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

*Tringa nebularia*

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

### 種の概要

北ヨーロッパからシベリア東部まで広く繁殖し、繁殖後はアフリカ南部、アジア南部、オーストラリアなどに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本に渡来するが、本州以南では一部が越冬する。干潟、河口、河原、湿地、湖沼、水田などに生息し、昆虫類、甲殻類、ミズ類、オタマジャクシなどを採食する。



写真提供: 森田俊司

(性別: 不明)

### 国内分布

北海道、礼文島、南千島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、宇治群島、草垣群島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

### 県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、洲本市、★伊丹市、★豊岡市、★加古川市、赤穂市、三木市、高砂市、川西市、小野市、★南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、★稲美町

### 主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○	○	○				○	○		

### 県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に3-6月と8-11月に生息するが、冬期にも記録がある。かつては県中・南部で単独または数羽の小群が少なからず記録されていた。近年は生息地の減少に伴い渡来地は減っている。県北部でも少ないが記録されている。

### 保護上の留意点

生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。草を刈り、水を入れる休耕田があるが、この鳥には貴重な採餌場となっている。